

## 福島原発事故14年の経験から学ぶ

— 当時小学生だった若者達との対話と、NHK共同調査の結果から —

Lessons from 14 Years of Experience after the Fukushima Nuclear Accident  
: From the Dialogue between Young Victims and Researchers, and the Results of Joint Survey with NHK



<https://wima.jp/>

対面・オンライン参加  
共にネット申し込み制

[11月29日(土)]

[ご挨拶] 10:00 開会の挨拶 : 大会長・辻内琢也  
(早稲田大学災害復興医療人類学研究所所長)

[第1部] 10:10 当時小学生だった若者達との対話から Vol.4

1. 企画趣旨・諸注意: 平田修三(15分)  
(大会実行委員長・仙台青葉学院短期大学准教授)
2. 被災当事者の若者3名による発表(各20分)
3. 早稲田大学人間科学部学生による  
事前インタビュー結果と考察(各10分)

4. WIMA研究者・教員3名によるコメント(各10分)  
堀川直子(WIMA招聘研究員), 浅川達人(早稲田大学教授),  
佐治伸郎(早稲田大学准教授)

※1組目: 10:25, 2組目: 11:05, 3組目: 11:45

[Lunch Time] 12:30~13:30

[第2部] 13:30 パネルディスカッション①: 司会: 平田修三(80分)

1. 原発事故14年の経験の意味・意義を考える
2. 若者達による日本社会・国際社会への提言

[第3部] 15:00 NHK/WIMA被災者アンケート調査の報告

1. 調査概要(山本裕子)
2. 視点(1): 複雑性PTSD(辻内琢也)
3. 視点(2): 孤立孤独(岩垣穂大: 亜細亜大学専任講師)
4. 視点(3): 都市社会(セシル・浅沼=プリス: MITATEラボ教授)
5. 視点(4): 自由記述(明戸隆浩: 大阪公立大学准教授)
6. 視点(5): 電話相談(萩原裕子: ところと法のつながり相談室)

[第4部] 16:20 パネルディスカッション②: 司会: 増田和高(80分)

2025NHK/WIMA被災者アンケート調査の結果を受けて

指定討論: 原口弥生(茨城大学教授), 筒井雄二(福島大学教授),  
森松明希子(東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream代表)

[ご挨拶] 17:45 閉会の挨拶: 大会実行委員長・平田修三

2025年11月29日(土): 10時~18時

早稲田大学・早稲田キャンパス/オンライン ハイブリッド開催 <無料>

◆主催 : 早稲田大学総合研究機構, 早稲田大学災害復興医療人類学研究所(WIMA)  
科研費(B)「原子力災害被災者の全人的復興モデル構築に向けたコミュニティベース参加型研究」  
大会長: 辻内琢也, 実行委員長: 平田修三

◆共催 : MITATE Lab. Post-Fukushima Studies (フランス国立科学研究センター見立てラボ)

◆問合せ先(WIMA研究所事務局: 辻内研究室内): 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15  
(シンポジウム事務局) E-mail: shinsai-wima@list.waseda.jp



# 早稲田大学災害復興医療人類学研究所 Waseda Institute of Medical Anthropology on Disaster Reconstruction

<https://wima.jp/>



## フランス国立科学研究センター見立てラボ MITATE Lab. Post-Fukushima Studies

<https://mitatelab.cnrs.fr/>

### ■WIMA研究所メンバー■

**【名誉顧問】** (故)菊地靖 (早稲田大学名誉教授, 開発人類学)  
根ヶ山光一 (早稲田大学名誉教授, 発達行動学)

#### 【所長】

辻内琢也 (早稲田大学人間科学学術院教授, 医師, 医療人類学・災害精神医学)

#### 【研究所員】 (\*運営委員)

扇原淳\* (人間科学学術院教授, 社会医学)  
小島隆矢\* (人間科学学術院教授, 建築環境心理学)  
桂川泰典 (人間科学学術院准教授, 臨床心理学)  
熊野宏昭 (人間科学学術院教授, 医師, 行動医学)  
浅川達人 (人間科学学術院教授, 都市社会学)  
福島勲 (人間科学学術院教授, 文化資源学)  
古山周太郎 (人間科学学術院准教授, 社会福祉学)  
佐治伸郎 (人間科学学術院准教授, 言語学, 認知科学)  
吉田耕平 (社会科学総合学術院講師, 社会学)

#### 【招聘研究員】

リチャードF.モリーカ (ハーバード大学教授, 医師, 難民トラウマ研究所・HPRT所長)  
多賀努 (東京都健康長寿医療センター研究所研究員, 社会学・老年学)  
増田和高 (武庫川女子大学文学部准教授, 社会福祉士, 地域福祉学)  
岩垣穂大 (亜細亜大学社会学部専任講師, 社会福祉士, 精神保健福祉士, 社会医学)  
平田修三 (仙台青葉学院短期大学准教授, 発達心理学・児童福祉学)  
金智慧 (東京大学多様性包摂共創センター特任研究員, 臨床心理士, 医療人類学)  
関谷雄一 (東京大学大学院総合文化研究科教授, 文化人類学・開発人類学)  
土田マリサ (慶応義塾大学精神神経科, 医師)  
北村浩 (政治経済研究所主任研究員, 政治学)  
桂川秀嗣 (東邦大学理学部名誉教授, 原子核物理学)  
猪股正 (震災支援ネットワーク埼玉代表, 弁護士)  
萩原裕子 (こころと法のつながり相談室, 臨床心理士)  
佐藤純俊 (全国福島県人友の会代表, 社会福祉主事)  
明戸隆浩 (大阪公立大学准教授, 社会学・多文化社会論)  
堀川直子 (元福島大学客員研究員, 社会人類学)  
森松明希子 (東日本大震災避難者の会Thanks & Dream代表)  
鈴木勝己 (早稲田大学人間科学部教育コーチ, 文化人類学)  
中村光江 (図書印刷株式会社, 文化人類学・民俗学)  
戸田典樹 (東京通信大学教授, 社会福祉学)  
渡部朋宏 (会津美里町役場, 公共政策学)  
村本邦子 (立命館大学人間科学研究科教授, 教育心理学)

### ■指定討論者■ 筒井雄二 (Yuji TSUTSUI)

福島大学共生システム理工学類教授/災害心理研究所所長

専門: 実験心理学、学習心理学、災害心理学、神経科学

博士(心理学): 学習院大学

**研究テーマ:** 福島で暮らす幼稚園児・小学生と保護者と対象とした研究。原子力災害が心理的影響を引き起こすメカニズムに基づき、心理的影響を食い止め、影響を最小化するための効果的な支援法や対策の開発と政策提言。

**主な論文・著書:** フクシマの未来像 第47回 福島第一原発事故が福島の母子をいかに傷つけたか 財界ふくしま 2019年8月号, 171-176 (単著) 2019年7月

### ■指定討論者■ 原口弥生 (Yayoi HARAGUCHI)

茨城大学人文社会科学部教授(学部長)

専門: 環境社会学、比較災害研究、環境リスクと社会的公正、環境正義

博士(社会学) 東京都立大学

**研究テーマ:** アメリカの環境正義運動と地域開発問題、ハリケーン災害をめぐる環境影響と都市再生、被災者・被害者からみた地域再生～自然災害と原子力災害の比較研究

**主な論文・著書:** 関礼子・原口弥生(共編)『福島原発事故は人びとに何をもたらしたのか—不可視化される被害、再生産される加害構造(シリーズ環境社会学講座3)』新泉社, 2023年09月

### ■WIMA関連書籍のご紹介■

- ◆辻内琢也「苦難の先に見出す“希望”—原発事故型PTSDといかに向きあうか。聖教新聞「復興と文化」取材班(編)『復興と文化: 常態化する災後社会のなかで』第三文明社, 2024
- ◆辻内琢也・他著『【意見書】フクシマ型PTSD “今やらねばならぬこと”—原発事故被害者への“構造的暴力による社会的虐待”』三和書籍, 2023
- …・10年間にわたる調査が明かす、原発事故被害者の被害実態の全体像
- ◆辻内琢也・トム・ギル(編著)『福島原発事故被災者 苦難と希望の人類学—分断と対立を乗り越えるために』明石書店, 2022
- ◆Takuya TSUJIIUCHI(Ed.)『Human Science of Disaster Reconstruction: An interdisciplinary approach to holistic health following the Great East Japan Earthquake and Fukushima nuclear disaster. Interbooks, 2019
- ◆辻内琢也・増田和高(編著)『フクシマの医療人類学—原発事故・支援のフィールドワーク』遠見書房, 2019
- ◆関谷雄一/高倉浩樹(編)『震災復興の公共人類学』東京大学出版会, 2019
- ◆戸田典樹(編著)『福島原発事故 取り残される避難者—直面する生活問題の現状とこれからの支援課題—』明石書店, 2018
- ◆戸田典樹(編著)『福島原発事故 漂流する自主避難者たち: 実態調査からみた課題と社会的支援のあり方』明石書店, 2016
- ◆鎌田薫(監修)早稲田大学震災復興研究論集編集委員会(編)『震災後に考える: 東日本大震災と向き合う92の分析と提言』早稲田大学出版部, 2015
- ◆辻内琢也(編著)『ガジュマル的支援のすすめ—一人ひとりのところに寄り添う』早稲田大学出版部, 2013